

ZEB への取り組み

□概略

中越福社会では『既存建築物の ZEB 実現に向けた先進的省エネルギー建築物実証事業』に採択され、ZEB リーディングオーナーに登録することとなりました。

既存物件を活用した改修を行う「みのわの里工房ゆきわり」では、建物の高断熱化や高効率設備などの導入で省エネ化を生みながら、太陽光発電などの再生可能エネルギーも利用することで、建物内のトータルのエネルギーの年間使用量をほぼゼロにする予定です。

□省エネへの取り組み目標

当法人は「共に汗を流そう、地域のために『お互い様』でずっと暮らそう」を法人理念とし、障害サービス事業を運営しております。

人は一人では生きられない。だれも排除しないし差別しない。障害のある人も、ない人も、お互いに迷惑をかけあいながら、それが「迷惑だよ」ではなく、「お互い様だね」と言い合える地域であること。共に支え合い、生まれ育った地域で、全ての人が生きがいのある人生を送ることができる、つながりのある地域社会づくりが重要であるとの伝統を受け継ぎ、今日まで携わってきました。

みのわの里工房ゆきわりの ZEB 化により、高効率な設備機器の導入による省エネだけでなく、BEMS によるエネルギー収支の見える化から職員への省エネ意識啓蒙を図ることで運用改善風土の醸成を目指していきます。

また、蓄電池を導入することで災害時には一定のライフラインを地域の方へ提供できるようにしていきたいと考えております。

□ZEB とは

[詳細はこちら](#)（[環境省ホームページ](#)）

ZEB とは Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の略称で「ゼブ」と呼びます。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロにすることを目標とした建物のことです。